

第7回研究科セミナー(トランスフォーマティブ知識経営研究領域)

テーマ

“日本における CCUS の取り組みと普及に向けた経営課題”

講演者: 国立研究開発法人

新エネルギー・産業技術総合開発機構

サーキュラーエコノミー部

プロジェクトマネージャー 大城 昌晃 氏

日 時: 令和7年7月24日(木) 18:00~19:30

実施方法: オンライン

下記 URL のフォームまたは QR コード
からお申込みください。

オンライン参加者には Zoom の会議室情報をお送りします。

【URL】<https://forms.gle/88Nit9Sa4bDrSeue7>



講演要旨:

カーボンニュートラルの実現に向けて、CCUS (Carbon Capture, Utilization and Storage) は不可欠な技術として国内外で注目を集めている。本講演では、日本における CCUS の政策動向や実証プロジェクトの進展状況を概観するとともに、NEDO プロジェクトにおける産業界との連携実績を基に、現場での課題と知見を共有する。特に、CO₂の回収・輸送・利用・貯留といった各プロセスにおいて直面する制度的・経済的・社会的な障壁を明らかにし、CCUS 導入を経営戦略として位置づける際の意思決定ポイントについて論じる。また、サーキュラーエコノミーとの接続可能性や、地域との協働のあり方についても触れ、今後の普及促進に向けた視座を提供する。

講演者略歴:

大城昌晃(おおき・まさあき)氏は、地球温暖化問題に強い関心を抱き、大学院修了後、総合エンジニアリング企業にて LNG プラントの低炭素設計や国際水素輸送プロジェクトに従事した経験を持つ。2022 年より NEDO に出向し、グリーンイノベーション基金における CO₂分離回収プロジェクトのマネージャーとして、日本の産業部門やエネルギー部門における CO₂分離回収技術の社会実装を推進している。発電所や製造業から排出される CO₂を対象に、分離・回収から利用・貯留に至るまでの実証的取組を主導し、経済合理性と環境負荷低減の両立を目指している。また、高校生や地域向け講演を通じ、CCUS の重要性と将来展望について積極的に発信している。



お問い合わせ先: 教授 白肌 邦生 (Email: kunios@jaist.ac.jp)